

第 1 日目 午前 シンポジウム 1

3 月 20 日 (木) 9:30 ~ 12:30 A 会場

データベースの中に築く生物像 —生命現象を読み解くためのデータベースと Web リソース—

オーガナイザー 中村保一 (かずさ DNA 研)
 豊田哲郎 (理研・GSC)
 青木 考 (かずさ DNA 研)

- 9:30 はじめに 豊田哲郎
- 座長 豊田哲郎
- 9:45 S01-1 KazusaAnnotation : ゲノム情報へのアノテーションを支援するシステム
 岡本 忍, 中尾光輝, 中村保一 (かずさ DNA 研)
- 10:15 S01-2 ウィキによるフラボノイドのデータベース
 Arita Masanori^{1,2}, Suwa Kazuhiro¹, Tokimatsu Toshiaki³, Shinbo Yoko⁴, Kanaya Shigehiko⁴
 (¹東大・新領域, JST・さきがけ, ²理研・PSC, ³京大・化研, ⁴奈良先端大・情報)
- 10:45 S01-3 遺伝子共発現データの整備と利用
 大林 武 (東大・医科研)
- 座長 中村保一
- 11:15 S01-4 EST からの植物ゲノムアノテーションとパスウェイ解析
 五斗 進 (京大・化研)
- 11:45 S01-5 シロイヌナズナのオミックス統合データベース
 ——オミックス進化論とデータベースの役割——
 豊田哲郎 (理研・GSC)
- 12:15 おわりに・総合討論 中村保一

第 1 日目 午前 シンポジウム 2

3 月 20 日 (木) 9:30 ~ 12:30 G 会場

植物科学における一酸化窒素 (NO) 研究の現状と未来

オーガナイザー 山崎秀雄 (琉球大・理)
川北一人 (名大院・生命農学)

座長 川北一人

9:30	S02-1	植物 NO 研究の現状と混乱	山崎秀雄 (琉球大学・理)
10:00	S02-2	硝酸還元酵素による NO 生成	崎浜靖子 ¹ , 山崎秀雄 ² (¹ 北大院・農, ² 琉球大・理)
10:30	S02-3	植物における活性窒素代謝	坂本 敦 (広島大院・理)
			座長 山崎秀雄
11:00	S02-4	マメ科植物と根粒菌の共生系における NO 発生と植物ヘモグロビンの機能	内海俊樹 (鹿児島大・理)
11:30	S02-5	植物の感染応答における NO 生成	川北一人 (名大院・生命農学)
12:00		総合討論	

第 1 日目 午後 シンポジウム 3

3 月 20 日 (木) 14:15 ~ 17:25 A 会場

植物遺伝子発現制御研究の最前線

オーガナイザー 高木 優 (産総研・ゲノム)
渡辺雄一郎 (東大院・総合文化)

座長 高木 優

14:15 はじめに 高木 優

14:20 S03-1 低分子 RNA による遺伝子発現制御
渡辺雄一郎¹, 竹田篤史^{1,2} (¹東大院・総合文化, ²オレゴン州立大)

14:50 S03-2 タイリングアレイ, 超高速シーケンシング技術を用いた植物のストレス応答における全ゲノムトランスクリプトーム解析
関 原明¹, 松井章浩¹, 石田順子¹, 諸澤妙子¹, 金 鍾明¹, 栗原志夫¹, 岡本昌憲¹, 藤 泰子¹, 中嶋舞子¹, 川嶋真貴子¹, 佐藤将一¹, 南原英司², 神沼英里³, 遠藤高帆³, 望月芳樹³, 小林紀郎³, 花田耕介⁴, 豊田哲郎³, 篠崎一雄⁴
(¹理研 PSC・植物ゲノム発現研究チーム, ²理研 PSC・適応制御研究チーム, ³理研 GSC・オミックス情報統合化研究チーム, ⁴理研 PSC・機能開発研究グループ)

15:20 S03-3 遺伝子一過的過剰発現スクリーンと SuperSAGE の利用
寺内良平, 松村英生, 齋藤宏昌, 神崎洋之, Berberich Thomas
(^(財)岩手生物工学研究センター)

座長 渡辺雄一郎

15:50 S03-4 キメラリプレッサーを用いた転写因子の機能解析
光田展隆^{1,2}, 小山知嗣¹, 松井恭子¹, 四方雅仁¹, 岩瀬 哲¹, 梅村佳美², 池田美穂¹, 高木 優^{1,2} (¹産総研ゲノム, ²科学技術振興機構 CREST)

16:20 S03-5 ゲノムインプリンティング制御因子の探索
木下 哲 (奈良先端大・バイオ・植物生殖遺伝学研究グループ)

16:50 S03-6 乾燥ストレス応答に関わる転写因子 AREB1 とその上流制御因子の解析
藤田泰成¹, 中島一雄¹, 片桐 健², 吉田拓也³, 金森紀仁¹, 梅澤泰史², 藤田美紀², 城所 聡³, 圓山恭之進¹, 伊藤卓也², 篠崎一雄², 篠崎和子^{1,3}
(¹国際農研・生物資源, ²理研・植物科学セ, ³東大院・農学生命科学)

17:20 おわりに 渡辺雄一郎

第 2 日目 午前 シンポジウム 6

3 月 21 日 (金) 9:00 ~ 12:00 A 会場

地球環境変動と植物の炭素・窒素代謝研究の展開

オーガナイザー 野口 航 (東大院・理)
松田 修 (九州大院・理)

- 9:00 はじめに 野口 航
座長 松田 修
- 9:10 S06-1 大気降水物の植生への沈着と葉表面における相互作用
久米 篤 (富山大学・理)
- 9:35 S06-2 窒素降水物量の増加と草原植生
衣笠利彦 (鳥取大・農)
- 9:55 S06-3 AOX は C/N バランサーとして機能するのか?
蜂谷卓土^{1,2}, 渡邊千尋^{1,2}, 寺島一郎¹, 野口 航¹ (¹東大院・理, ²大阪大院・理)
- 10:15 S06-4 窒素転流と RCB 輸送を介しての液胞中の Rubisco 分解
石田宏幸¹, 吉本光希², 和田慎也¹, 泉 正範¹, Daniel Reisen³,
Maureen Hanson³, 大隅良典⁴, 前 忠彦¹, 牧野 周¹
(¹東北大院・農, ²理研, ³コーネル大・分子生物・遺伝, ⁴基生研)
座長 野口 航
- 10:35 S06-5 窒素制限条件下の硝酸同化系の調節
愛知真木子¹, 市川和洋², 市橋泰範³, 近藤香苗¹,
上野 薫³, 永井和夫¹, 南 基泰³, 小俣達男⁴
(¹中部大・応用生物, ²名大・農, ³中部大・環境生物, ⁴名大院・生命農)
- 10:55 S06-6 シロイヌナズナ気孔開閉応答変異株を用いた植物の CO₂ 応答メカニズムの解析
柁宜淳太郎, 橋本美海, 松田 修, 射場 厚 (九州大院・理)
- 11:15 S06-7 窒素栄養によるサイトカイニン代謝制御はどこまでわかったか?
榊原 均, 信定知江, 武井兼太郎 (理研・PSC)
- 11:40 総合討論
コメンテーター 寺島一郎 (東大院・理)

第 2 日目 午前 シンポジウム 7

3 月 21 日 (金) 9:00 ~ 12:00 B 会場

植物の大きさを決める細胞周期コントロールの分子メカニズム

オーガナイザー 山崎健一 (北大院・地球環境)

座長 山崎健一

- 9:00 はじめに
- 9:05 S07-1 細胞伸長, 細胞分裂と核内倍加をつなぐ未知の統合システム:
補償作用と倍数体の解析から見えてきたもの
塚谷裕一 (東京大・院・理, 基生研)
- 9:30 S07-2 植物の核内倍加と細胞サイズ制御の分子遺伝学的解析
杉本慶子 (理化学研究所植物科学センター)
- 9:55 S07-3 26S プロテアソーム機能と葉のサイズ制御機構
佐古香織, 佐藤長緒, 園田 裕, 池田 亮, 山口淳二 (北大院・生命)
座長 山口淳二 (北大院・生命)
- 10:20 S07-4 器官形成を支える細胞周期調節因子の量的・質的制御機構
梅田正明¹, Gyung-Tae Kim^{1,2}
(¹ 奈良先端大・バイオ, ²Department of Molecular Biotechnology, Dong-A Univ.)
- 10:45 S07-5 植物転写コアクチベーターによるエンドリデュプリケーション制御を介した葉の大きさの
制御
山崎健一, 東條卓人 (北大院・地球環境)
- 11:10 S07-6 機能獲得型変異株を用いたエンドリデュプリケーション制御機構解明の試み
吉積毅¹, 本郷洋明^{1,2}, 原 博子^{1,2}, 島田浩章², 松井 南¹
(¹ 理研 PSC・植物ゲノム, ² 東京理科大学・基礎工学部生物工学)
- 11:35 総合討論

第 2 日目 午前 シンポジウム 8

3 月 21 日 (金) 9:00 ~ 12:00 G 会場

オルガネラと核のクロストークに関与する新たなタンパク質スーパーファミリー：
Pentatricopeptide Repeat (PPR) タンパク質 —その多彩な機能を探る—

オーガナイザー 肥塚信也 (玉川大学・農)
杉田 護 (名大・遺伝子)

座長 杉田 護

09:00 はじめに

09:05 S08-1 花粉稔性回復因子としての PPR タンパク質
肥塚信也, 小林健人, 今村 順 (玉川大学・農)

09:20 S08-2 イネの花粉形成に関与する PPR 遺伝子の解析
風間智彦^{1,2,3}, 鳥山欽哉³
(¹岩手大学 21 世紀 COE プログラム, ²東北大院・生命科学, ³東北大院・農)

09:45 S08-3 ミトコンドリア局在 PPR タンパクによる呼吸鎖と代謝制御のダイナミズム
小林啓子¹, 唐 建偉¹, 鈴木優志¹, 村中俊哉^{1,2} (¹理研・PSC, ²横浜市大・木原生研)

10:10 休憩

座長 肥塚信也

10:20 S08-4 光周性花成誘導に関与する PPR タンパク質
小野公代, 田中紀匡, 鎌田 博, 小野道之 (筑波大院・生命環境科学)

10:45 S08-5 葉緑体 RNA 編集を行なう装置
鹿内利治 (九大院・農)

11:10 S08-6 DYW モチーフをもつ PPR タンパク質の分子機能
中村崇裕^{1,2}, 杉田 護³ (¹九大・高等研, ²JST・さきがけ, ³名大・遺伝子)

11:30 S08-7 植物の PPR タンパク質ファミリーの進化と多様性
杉田 護¹, 服部 満¹, 飯田 慶² (¹名大・遺伝子, ²カリフォルニア大学リバーサイド)

11:50 総合討論

第 2 日目 午後 本部企画シンポジウム

3 月 21 日 (金) 13:45 ~ 16:00 A 会場

植物科学におけるキャリアパスの現状と課題：博士の力を活かすには？

- 13:45 会長挨拶
中村研三（日本植物生理学会会長，名古屋大学大学院生命農学研究科教授）
- 13:50 植物科学における PD と PI の現状
河内孝之（日本植物生理学会前広報委員長，京都大学大学院生命科学研究科教授）
- 14:05 大学院重点化と PD 1 万人計画：国の施策が目指したものと問題点——学術会議の取組みから
中野明彦（日本学術会議生物科学分科会委員長，東京大学大学院理学系研究科教授，
理化学研究所主任研究員）
- 14:35 生命科学分野におけるキャリアパスと施策
大隅典子（東北大学大学院医学系研究科教授，東北大学総長特別補佐）
- 15:05 文部科学省キャリアパス多様化促進事業と名古屋大学の取り組み
武田 穰（名古屋大学産学連携推進本部教授）
- 15:25 ライフサイエンス企業におけるポストドク人材活用
片岡達彦（ケリーサービスジャパン株式会社）
- 15:50 植物科学のキャリアパス育成に向けて，まとめと総合討論
司会 徳富 哲（日本植物生理学会広報委員長，大阪府立大学大学院理学系研究科教授）

第 2 日目 午後 授賞式・受賞講演

3 月 21 日 (金) 16:15 ~ 18:10 A 会場

日本植物生理学会賞・授賞式

16:15 学会賞・PCP 論文賞選考経過報告および賞状授与
学会賞選考委員会委員長, PCP 論文賞選考委員会委員長, 会長

日本植物生理学会若手海外共同研究フェローシップ・授賞式

16:30 日本植物生理学会若手海外共同研究フェローシップ 賞状授与
会長

第 2 回「根冠の分化における *ASYMMETRIC LEAVES 2* の機能」
松村葉子 (名古屋大学大学院理学研究科・博士課程)

第 3 回「オオムギ種子発達に関与する遺伝子ネットワークの解明」
及川 愛 (岩手大学大学院連合農学研究科・博士課程)

日本植物生理学会賞・受賞講演

16:40 日本植物生理学会賞「植物および関連微生物のゲノム解析」
田畑哲之 (かずさ DNA 研究所)

17:10 日本植物生理学会奨励賞「高等植物における根の発生機構に関する分子遺伝学的研究」
深城英弘 (神戸大学大学院理学研究科)

17:30 日本植物生理学会奨励賞
「植物細胞の増殖を制御する分泌型ペプチド群およびその受容機構に関する研究」
松林嘉克 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

17:50 PCP 論文賞
畑 信吾 (名古屋大学大学院生命農学研究科)

Daisuke Maeda, Kanae Ashida, Keita Iguchi, Svetlana A. Chechetka, Ayaka Hijikata, Yasuhiro Okusako, Yuichi Deguchi, Katsura Izui, and Shingo Hata: Knockdown of an Arbuscular Mycorrhiza-inducible Phosphate Transporter Gene of *Lotus japonicus* Suppresses Mutualistic Symbiosis. (*Plant Cell Physiol.* 47(7): 807-817 (2006))

第 3 日目 午前 シンポジウム 9

3 月 22 日 (土) 9:00 ~ 11:50 A 会場

機能付加による遺伝子機能研究——基礎から応用への展開——

オーガナイザー 高辻博志 (農業生物資源研)
松井 南 (理研・PSC・植物ゲノム)

座長 高辻博志

9:00 はじめに 松井 南

9:05 S09-1 イネ-ナズナ FOX hunting 系：有用形質の高速探索のためのモデルシステム
松井 南¹, 樋口美栄子¹, 高橋真哉¹, 近藤陽一¹, 黒田浩文¹, 吉積 毅¹,
市川尚斉¹, 榊原 均¹, 草野 都¹, 高橋秀樹¹, 秋山顕治¹, 櫻井哲也¹, 小田賢司²,
横谷尚起², 齋藤 力², 菅野正治³, 夏木 潤³, Dubouzet Joseph G³, 森 昌樹³,
高辻博志³, 廣近洋彦³ (¹理研・PSC, ²岡山生物科学総研, ³農業生物資源研)

9:30 S09-2 イネ-イネ FOX hunting 系：
イネ完全長 cDNA 過剰発現イネの機能獲得型表現形質に基づく遺伝子の包括的機能解析
市川裕章 (農業生物資源研)

9:55 S09-3 オオムギ染色体導入コムギのオミクス研究
萩原保成 (横浜市大・木原生研)

座長 松井 南

10:20 S09-4 Computer Aided Design of Organisms
Pawan Dhar (RIKEN Yokohama Institute)

10:45 S09-5 ホルモン生合成経路を利用した甘味成分の生産：遺伝子付加により甘い植物を作る
(Production of sweetener using a hormone biosynthesis pathway: generation of sweet plants)
Runagroon Waditee, Hiroshi Magome, Takahito Nomura,
Atsushi Hanada, Yuji Kamiya, Shinjiro Yamaguchi
(RIKEN・PSC)

11:10 S09-6 イネの誘導抵抗性における転写因子 WRKY45 の役割とその利用
高辻博志, 霜野真幸, 菅野正治, 中山 明, 姜 昌杰, 松下 茜, 林 長生, 井上晴彦
(農業生物資源研)

11:35 おわりに 高辻博志

第 3 日目 午前 シンポジウム 10

3 月 22 日 (土) 9:00 ~ 12:00 G 会場

クロロフィル蛍光でわかる光合成機能——あなたは PAM で正しく測定していますか?——

オーガナイザー 高橋裕一郎 (岡山大・院・自然科学)

9:00 はじめに 高橋裕一郎

座長 久堀 徹 (東工大・資源化学研)

9:05 S10-1 パルス変調蛍光測定法の基礎講座：原理と測定法
園池公毅 (東大・新領域・先端生命)9:45 S10-2 緑藻クラミドモナスの光合成変異株の蛍光測定
高橋裕一郎 (岡山大・院・自然科学)10:05 S10-3 高等植物の電子伝達活性の測定と変異株のスクリーニングへの応用
遠藤 剛 (京都大・生命)

座長 園池公毅 (東大・新領域・先端生命)

10:35 S10-4 植物プランクトンにおける NPQ 測定
皆川 純 (北海道大・低温研)11:05 S10-5 PAM 蛍光を用いた陸上植物の生理生態学
寺島一郎¹, 小口理一^{1,2}, WS (Fred) Chow², Detelin Stefanov³
(¹東京大院・理, ²オーストラリア国立大・生物科学研究所, ³ブルガリア科学アカデミー)11:35 総合討論：PAM 測定法の光と陰；光合成活性測定にどのように用いるか
徳富 (宮尾) 光恵¹, 久堀 徹², 園池公毅³
(¹農業生物資源研, ²東工大・資源化学研, ³東大・新領域・先端生命)

第 3 日目 昼休み

3 月 22 日 (土) 12:10 ~ 12:50 A 会場

科研費・学振特別研究員申請に関する講演

12:10 あなたの科研費・学振特別研究員申請の仕方は間違っていますか

福田裕穂

(日本学術振興会学術システム研究センター主任研究員, 東京大学大学院理学系研究科生物科学専攻)

私は日本学術振興会学術システム研究センターの主任研究員として、科研費や特別研究員の制度の改善に努めています。その過程で多くの申請を見てきました。そして、内容は悪くないのに採択されないケースがあることに気づいてきました。その原因として大きいのは、審査がどのようになされるのかをよく知らないために、書き方がまずいというものです。このセミナーでは、いかにして審査がなされるのか、そして、その審査に堪える申請を書くためには何に注意をすればよいのか、などについて私の体験も交えて話してみたいと思います。

第 3 日目 午後 シンポジウム 11

3 月 22 日 (土) 13:00 ~ 16:30 A 会場

モデル植物の 'ゲノム' 情報をどのように利用するか

オーガナイザー 鳴坂義弘 (岡生研・遺伝子機能 2)
江面 浩 (筑波大院・生命環境)
小林正智 (理研 BRC)

13:00 はじめに 小林正智

セッション 1: モデル実験植物シロイヌナズナから得た知見をアブラナ科作物へ

座長 湯浅高志 (九大院・農)

13:05 S11-1 シロイヌナズナのゲノム情報を利用したハクサイ cDNA の整備
安部 洋¹, 佐々木一誠¹, 鳴坂真理², 深海 薫³, 畠山勝徳⁴, 鳴坂義弘², 小林正智¹ (¹理研 BRC・実験植物開発室, ²岡生研・遺伝子機能 2, ³理研 BRC・情報解析技術室, ⁴野茶研)

13:30 S11-2 シロイヌナズナ・ハクサイゲノムのシンテニー情報を利用した根こぶ病抵抗性育種
畠山勝徳, 松元 哲 (野茶研)

座長 江面 浩

13:55 S11-3 シロイヌナズナのゲノム情報からアブラナ科作物の病害応答を診断する
鳴坂義弘¹, 鳴坂真理^{1,2}, 安部 洋³, 畠山勝徳⁴, 宇野久仁子¹, 白石友紀², 小林正智³
(¹岡生研・遺伝子機能 2, ²岡大・農, ³理研・BRC, ⁴野茶研)

14:20 S11-4 シロイヌナズナのゲノム情報を利用したものづくり——創薬技術への応用
平塚和之 (横浜国大・環境情報)

14:45 休憩 (5 分間)

セッション 2: マイクロトムの情報をトマト栽培品種へ

座長 安部 洋 (理研 BRC)

14:50 S11-5 始動したトマト NBRP の概要
江面 浩¹, 溝口 剛¹, 松倉千昭¹, 福田直也¹, 青木 考²
(¹筑波大院・生命環境, ²かずさ DNA 研)

15:15 S11-6 トマトの SNF1 関連キナーゼホモログと環境ストレスシグナル
湯浅高志¹, 高橋智子², 氏家みお³, 今村雅和², 井上眞理¹
(¹九大院・農, ²九大院・生物資源, ³九大・農)

座長 鳴坂義弘

15:40 S11-7 トマト果実における GABA 生合成および代謝における鍵酵素の探索
秋廣高志¹, 小池 悟¹, 赤間一仁², 江面 浩¹ (¹筑波大・遺七, ²島根大・生物資源)

16:05 S11-8 トマトにおけるゲノム情報・ゲノミクスリソースを活かした分子育種の取り組み
津金胤昭¹, 前田ふみ¹, 鈴木秀章¹, 柴田大輔², 青木孝一¹ (¹千葉農総研, ²かずさ DNA 研)

第 3 日目 午後 シンポジウム 12

3 月 22 日 (土) 13:00 ~ 16:30 B 会場

小胞輸送研究の新展開：構造・動きと局在制御の分子機構

オーガナイザー 熊丸敏博 (九州大院・農)
 松岡 健 (九州大院・農)
 川越 靖 (生物研・植物科学)

- 13:00 はじめに 熊丸敏博
 座長 熊丸敏博
- 13:05 S12-1 種子貯蔵タンパク質の細胞内局在に關与する RNA ターゲティング
 鷺田治彦, Thomas W Okita (ワシントン州立大・生物化学研)
- 13:30 S12-2 イネ種子貯蔵タンパク質のジスルフィド結合形成の電子伝達系の可視化からみたタンパク質分別輸送・集積の分子機構
 恩田弥生¹, 長嶺 愛², 小川雅広², 熊丸敏博³, 川越 靖¹
 (¹生物研・植物科学, ²山口県立大・生活科学, ³九州大院・農)
 座長 川越 靖
- 13:55 S12-3 イネグルテリンの細胞内輸送と蓄積を制御する遺伝的メカニズム
 熊丸敏博¹, 小川雅広², Thomas W Okita³, 佐藤 光¹
 (¹九州大院・農, ²山口県立大・生活科学, ³ワシントン州立大・生物化学研)
- 14:20 S12-4 シロイヌナズナ変異体を用いた液胞タンパク質の輸送機構の解明
 嶋田知生 (京都大院・理)
- 14:45 S12-5 Secretory Vesicle Cluster: トランスゴルジネットワーク由来の分泌系後期で働く新奇構造体
 松岡 健^{1,2}, 豊岡公德², 浅妻 悟^{1,2}, 後藤友美², 三ツ井敏明³
 (¹九州大院・農, ²理研・植物センター, ³新潟大・農)
 座長 松岡 健
- 15:10 S12-6 Qb-SNARE VTI11 欠損変異 zig の抑圧変異体解析から見えてきたシロイヌナズナ小胞輸送ネットワーク
 森田 (寺尾) 美代¹, 橋口泰子¹, 新濱 充², 田坂昌生¹ (¹奈良先端大・バイオ, ²遺伝研)
- 15:35 S12-7 植物のエンドサイトーシス——分子機構と高次生命現象における役割——
 上田貴志 (東京大院・理)
- 16:00 S12-8 ショ糖飢餓条件下におかれたタバコ培養細胞でおこる生体膜の輸送と分解
 森安裕二 (埼玉大院・理工)
- 16:25 おわりに 松岡 健

第 3 日目 午後 シンポジウム 13

3 月 22 日 (土) 13:00 ~ 16:00 G 会場

植物の生産性とカルビン回路「カルビンサイクル研究の新展開」

オーガナイザー 小川 健一 (RIBS OKAYAMA)
 田茂井政宏 (近畿大・農・バイオ)
 牧野 周 (東北大・院農)

13:00 はじめに「なぜ今カルビン回路か！」 小川健一, 田茂井政宏, 牧野 周

座長 鹿内利治 (京大・院理・植物)

13:05 S13-1 光合成による PSI 循環的電子伝達反応の, 美しい制御
 三宅親弘 (地球環境産業技術研究機構 (RITE) 植物研究グループ)

13:35 S13-2 電子伝達系からの Rubisco 活性の制御
 牧野 周¹, 佐藤友則¹, 三宅親弘², Rowan Sage³
 (¹東北大・院農, ²地球環境産業技術研究機構 (RITE), ³トロント大・植物学科)

座長 牧野 周

14:05 S13-3 カルビン回路におけるフルクトース-1,6-ビスリン酸アルドラーゼのレドックス制御
 小川健一^{1,2}, 松本雅好¹ (¹RIBS OKAYAMA, ²科学技術振興機構・CREST)

14:35 S13-4 CP12 によるカルビンサイクル制御機構
 田茂井政宏, 重岡 成 (近畿大・農・バイオ)

座長 田茂井政宏

15:05 S13-5 RuBisCO-like proteins の解析から見えてきた RuBisCO 誕生の分子機構
 蘆田弘樹, 横田明穂 (奈良先端大・バイオ)

15:35 総合討論

データベース講習会スクリーン発表

第 1 日目 3 月 20 日 (木) 13:00 ~ 14:00 P 会場スクリーン発表コーナー

第 2 日目 3 月 21 日 (金) 12:30 ~ 13:30 P 会場スクリーン発表コーナー

第 1 日目 3 月 20 日 (木)

- 13:00 P445 The Plant Organelles Database (PODB) の構築
真野昌二^{1,2}, 三輪朋樹³, 西川周一⁴, 三村徹郎⁵, 西村幹夫^{1,2} (¹基生研・細胞生物,
²総合研究大学院大・生命科学, ³基生研・電子計算機室, ⁴名大・院・理, ⁵神戸大・理・生物)
- 13:12 P447 KaPPA-View3 :
多生物種におけるトランスクリプトームとメタボローム解析のための代謝経路解析ツール
櫻井 望¹, 山崎 清¹, 鈴木秀幸¹, 斉藤和季^{2,3}, 柴田大輔¹
(¹かずさ DNA 研, ²理研・PSC, ³千葉大院・薬)
- 13:24 P449 ppdb : 植物プロモーターデータベース
山本義治, 小保方潤一 (名大・遺伝子)
- 13:36 P451 植物遺伝子の串刺し DB, SABRE (Systematic consolidation of Arabidopsis and other
Botanical REsource)
深海 薫¹, 田村卓郎², 太田聡史¹, 小林正智¹ (¹理研 BRC, ²ビッツ株式会社)
- 13:48 P453 MiBASE および KaFTom : トマトのトランスクリプトームと完全長 cDNA のデータベース
矢野健太郎¹, 青木 考², 柴田大輔² (¹東大・農・アグリバイオ, ²かずさ DNA 研)

第 2 日目 3 月 21 日 (金)

- 12:30 P446 代謝物の精密マススペクトルデータベース MassBank
蓬萊尚幸^{1,5}, 有田正規^{1,2,3,5}, 二瓶義人^{1,5}, 池田 奨^{1,5}, 諏訪和太^{2,5},
尾畷雄也^{1,5}, 嘉数勇二¹, 曾我朋義¹, 西岡孝明^{1,4,5}
(¹慶大・先端生命研, ²東大・新領域, ³理研・PSC, ⁴京大・農, ⁵JST-BIRD)
- 12:42 P448 変異体データベース「RIKEN Activation Tagging Line Database」, 「RIKEN Arabidopsis
Phenome Information Database (RAPID)」, 「RIKEN FOX Line Database」
近藤陽一¹, 櫻井哲也¹, 秋山賢治¹, 市川尚齊¹, 黒森 崇¹, 黒田浩文¹, 吉積 毅¹,
高橋真哉¹, 樋口美栄子¹, 中澤美紀¹, 川島美香¹, 長谷川由香子¹, 堀井陽子¹, 栗山朋子¹,
松井敬子¹, 神谷麻子¹, 菅野正治², 夏木 潤², 森 昌樹², 高辻博志², 小田賢司³
(¹理研・PSC, ²農業生物資源研究所, ³岡山県生物科学総合研究所)
- 12:54 P450 比較ゲノムデータベース Gclust の紹介
田島直幸¹, 佐々木直文², 藤原 誠², 佐藤直樹² (¹東京大・教養, ²東京大・院・総合文化)
- 13:06 P452 イネアノテーションデータベース (RAP-DB)
伊藤 剛, 田中 剛, 沼 寿隆, 坂井寛章 (農業生物資源研・基盤)